

医療最前線

泌尿器科の話①



中原満 医師

了しつつかの底でやはり腹膜外にあり。アメリカから分化した。精巣(睾丸)、精管、前立腺、精囊腺からなります。精巣は陰嚢の中に左右1対あり精子と男性ホルモンを作る働きがあります。前立腺は膀胱の直下にあり、その中を尿が通過します。前立腺は隣接する精囊腺とともに男性ホルモンの影響で精液を作り、尿道を通して精液を排出(射精)します。

咳をした時に尿が漏れる腹圧性尿失禁などにも手術が必要になることもあります。このように泌尿器科診療において手術は重要な役割を果たしていますが、他の外科系診療科と異なるのは、疾患の診断も泌尿器科医が行い、術後の経過観察も泌尿器科医が一貫して行っているところ

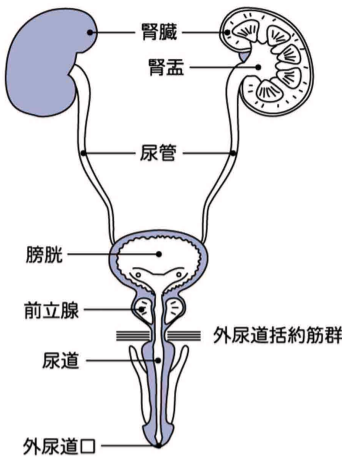
泌尿器科と聞いて皆様はどんなことを思い浮かべるでしょうか。ブリタニカ国際大百科事典によれば、「臨床的には、尿路の諸臓器と男性性器、それに副腎の疾患を対象とし、それらの外科的治療を主として行う科をいうが、内分泌疾患や腎臓病のような内科的疾患も取扱う。比較的新しく専門分化した領域で、日本では、初めは性病を担当していた皮膚泌尿器科がこの領域を担当するようになり、現在では、皮膚科と泌尿器科の独立が完了

これを補足説明すると、尿路とは尿(おしっこ)を分泌(作って排出)する腎臓、腎臓から膀胱に尿を運ぶ細い管である尿管、尿を一定時間蓄えた後に排出(排尿)させる筋肉の袋である膀胱、膀胱から体外に尿を排出する通路である尿道からなります。腎臓と尿管は腹部の背中側、腸などの消化器を包む腹膜の外(後腹膜腔)に背骨をはさむように左右1対あります。腎臓のそばには多種のホルモンを分泌する副腎があります。膀胱は骨盤

泌尿器科の底でやはり腹膜外にあり。アメリカから分化した。精巣(睾丸)、精管、前立腺、精囊腺からなります。精巣は陰嚢の中に左右1対あり精子と男性ホルモンを作る働きがあります。前立腺は膀胱の直下にあり、その中を尿が通過します。前立腺は隣接する精囊腺とともに男性ホルモンの影響で精液を作り、尿道を通して精液を排出(射精)します。

泌尿器科の底でやはり腹膜外にあり。アメリカから分化した。精巣(睾丸)、精管、前立腺、精囊腺からなります。精巣は陰嚢の中に左右1対あり精子と男性ホルモンを作る働きがあります。前立腺は膀胱の直下にあり、その中を尿が通過します。前立腺は隣接する精囊腺とともに男性ホルモンの影響で精液を作り、尿道を通して精液を排出(射精)します。

泌尿器科の底でやはり腹膜外にあり。アメリカから分化した。精巣(睾丸)、精管、前立腺、精囊腺からなります。精巣は陰嚢の中に左右1対あり精子と男性ホルモンを作る働きがあります。前立腺は膀胱の直下にあり、その中を尿が通過します。前立腺は隣接する精囊腺とともに男性ホルモンの影響で精液を作り、尿道を通して精液を排出(射精)します。



【図1】泌尿器科の疾患の種類

- 腎・尿管: 腎癌, 腎盂尿管癌, 腎結石・尿管結石, 腎盂腎炎
副腎: 副腎腫瘍
陰嚢: 陰嚢腫瘍, 精巣上体炎
膀胱: 膀胱癌, 膀胱結石, 神経因性膀胱・過活動膀胱, 膀胱炎
前立腺: 前立腺癌, 前立腺肥大症, 前立腺炎
尿道・陰茎: 陰茎癌, 性感障害 (淋菌性・クラミジア性尿道炎)

泌尿器科は治療手段として手術が重要となっており、古くは外科学に属していたが1879年にドイツで膀胱鏡が発明され、それを使用する専門性により外科から独立しました。一方、日本で皮膚泌尿器科講座が発足したのは、明治時代にヨーロッパに留学して皮膚科と泌尿器科を学んで帰国した東京

泌尿器科の底でやはり腹膜外にあり。アメリカから分化した。精巣(睾丸)、精管、前立腺、精囊腺からなります。精巣は陰嚢の中に左右1対あり精子と男性ホルモンを作る働きがあります。前立腺は膀胱の直下にあり、その中を尿が通過します。前立腺は隣接する精囊腺とともに男性ホルモンの影響で精液を作り、尿道を通して精液を排出(射精)します。